

なんこう

新年度 病院長あいさつ

発行
岩手県立南光病院
地域連携広報
R06年度第1号
令和6年5月15日

「病院長あいさつ」 院長 稲富 浩



地域のみなさん、南光病院です、よろしくお願いします。

昨年度は、岩手県精神福祉大会が一関地域で開催されました際に、皆様方とともに、企画・準備・運営に携わらせていただきました。

その折には、南光病院で事務局を担当させていただきましたが、本体の非力さを皆様方のご尽力に支えていただきました。おかげさまで

大会を無事にまた成功裡におさめることができたことに、この場をかりて、あらためて感謝申し上げたいと思います。当日のご挨拶でも申し上げたことですが、皆様方に支えられた一関地域の底力を再認識したことであります。

その底力は、皆様方が、当地域で生活される多くの患者さんやご家族の方、また住民の方々のために、日々考え日々活動されているところから生まれているものと思います。また、地域における日頃の連絡や相談といったコミュニケーションによって育てられたものと思います。そして、これからも日々の考察と実践、また日頃の相談協力の充実をはかりたいと考えます。

今年度、南光病院は、病棟再編を行い、急性期対応の充実と入院患者さんの地域移行をさらに進めたいと考えています。それも皆様方のご理解あつてのことと承知しております。くり返しになりますが、今年度もどうかよろしくお願い申し上げます。





いつも大変お世話になっております。今年度の相談室について紹介します。

令和6年度も昨年同様、新採用職員1名を迎え、相談員7名、事務員1名の8人体制です。相談室内に「佐藤」が3名おります。佐藤が多いので、こちらから名前まで名乗りますのでフルネームで覚えてください。

当院では昨年と同様に、急性期医療の充実、早期地域移行の促進、地域での生活支援の推進を掲げており、相談室もチームの一員として取り組んでおります。

その人らしい生活の実現に向けて、ご本人、ご家族、地域の方と話し合い協力しながら取り組んで参りたいと思います。当院が地域資源の一つとして機能していくために相談室も架け橋となれるよう努めていきます。

相談室では、認知症疾患医療センターやアルコール受診相談、家族教室（アルコール・統合失調症）、家族会の窓口を担っておりますので、相談などお問い合わせ下さい。

活躍する看護師シリーズNo. 9

看護師長補佐 渡邊 加奈子



昨年度より外来看護師長補佐となりました渡邊加奈子です。認知症看護認定看護師として存じ上げられている方が多いかも知れません。日頃から、当院との連携にご協力いただき誠にありがとうございます。

看護師となって数年間は都内大学病院で勤務していました。超急性期

の現場、教科書の片隅にしか載っていない稀少な疾患など分からないことだらけで勉強の日々でした。カンファレンスでは実際に患者さんも参加し、治療や日々のケア、退院後の生活に向けて話し合いが行われました。真剣にその人の立場に立って考えることや、若くても自分の考えを臆することなく発言する環境に恵まれたことで、プロフェッショナルとしての誇りと自覚を持つことが出来たと思います。

その後は岩手に戻り、数か所の県立病院を経て南光病院に勤務しています。南光病院では子育てとキャリアアップの両立で目まぐるしく過ぎたように感じます。『認知症看護を学びたい!』という想いに突き動かされ、気がつけば認定看護師を目指していました。私の無茶な希望を受け入れ背中を押してくれた家族には本当に感謝しています。

認定看護師となってからは、認知症ケアの質向上のための勉強会や研修会の実施、認知症ラウンドを軸とした院内のシステムを構築し、早期退院を実現することができました。活動当初は自身の未熟さゆえ悩むことも多かったのですが、今日まで続けることができたのは、認知症になっても変わることはない患者さんの『その人らしさ』や『笑顔』、看護スタッフをはじめとした院内外の方々の多職種の方々のご支援、ご協力のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、これから先の社会・医療は人口推移の影響を受け大きく変化していくものと考えます。乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層の方の多様な疾患に対して、地域の方々と協力した支援が必要になると思われます。特にコロナ禍ではIT化が進み便利になった反面、人との繋がりの大切さや、私達エッセンシャルワーカーの重要性をより強く感じられたのではないのでしょうか。人は人との関わりの中で生きています。多様性が尊重され、どの人も尊厳と希望を持って生きられる社会づくりの先端に精神保健医療があると思います。これからも当院に受診・入院される方々に対し、温かい医療やケアを提供できるよう、現場で働く私達も自身のこころとからだのバランス、健康の維持を大切にして、精神保健医療に携わる皆さんと協働していきたいと思います。引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

岩手県立南光病院患者数等統計								
	初 診 患者数	延外来 患者数	新入院 患者数	退 院 患者数	延入院 患者数	平 均 在院日数	紹介患者数 (南光病院に紹 介された数)	逆紹介患者数 (南光病院から 紹介した数)
令和元年度	541	34,905	443	457	76,049	168.0	199	233
令和2年度	502	32,700	388	416	69,159	171.0	178	212
令和3年度	575	33,208	435	432	66,489	152.1	221	227
令和4年度	644	32,917	363	361	65,394	180.6	224	208
令和5年度	550	32,882	377	383	65,665	172.8	192	242

Q：平均在院日数って、入院している平均日数のことですか？

A：いいえ違います。年間延入院患者数を $1/2 \times$ （年間新入院患者数＋年間退院患者数）で割った数字です。
平均在院日数が短縮することは、診断と治療、リハビリ、退院支援、医療安全が適切に行われているかがわかります。（令和4年度統計 全国平均は277日です）

【編集後記】

新採用者（4）、人事異動による転入者（13）を迎入れ、令和6年度がスタートしました。あっという間に山野草が咲き、薫風の季節となりました。今年度もよろしくお願いします。（広報委員会）



- | | |
|------------|---|
| □お車をご利用の場合 | 東北自動車道一関ICから約7 Km（約15分） |
| □JRをご利用の場合 | 東北本線、大船渡線及び東北新幹線一ノ関駅
下車、駅西口より「磐井南光病院行」直通バスあり（約12分） |